

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	11
事業名	体育振興経費	
	会計	款
	一般	10
		6
		2
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-4	スポーツの振興
主要施策	②多様なスポーツ活動の普及促進	③スポーツ団体、指導者の育成

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民にスポーツの場を提供し、またスポーツを通じた地域のコミュニケーションの輪を広げ、住民にとっての明るく健康的なまちづくりを行う。
事業内容	誰もが気軽に参加できる、地域住民による自主的・主体的なスポーツ行事の企画・運営（スポーツ教室及び対抗戦等スポーツイベントの開催、広報活動による啓発・周知、指導者の確保・育成）の基盤づくりを支援する。また、町民体育祭や駅伝大会の開催について、前年度までの反省事項を基に、検証・協議し、各種目の見直しやニーズの高い趣向を新しいプログラムに取り入れるなど、参加しやすい、または参加したくなる大会となるよう努める。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）
	1	総合型地域スポーツクラブ（フレンドリークラブ）会員数		688	587	人	↑	800
2	教室参加人数		19,350	16,090	人	↑	10,000	
3	町民体育祭・駅伝大会参加自治会数		23	23	自治体	→	23	
4								
5								
			平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		平成31年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			25,466		27,919		26,861	
財源内訳	直接事業費A		25,466		25,507		24,023	
	うち一般財源		24,186		24,050		22,623	
人件費（千円）B			0		2,412		2,838	
内訳	一般職員（人・千円）				0 0.33		2178 0.43	
	臨時職員（人・千円）				0 0.13		234 0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	自治会対抗種目の選手集めに、苦慮している自治会がある。
②H30年度に実施した取り組み	町民体育祭を半日開催とした。	④今後の改善計画	自治会対抗種目のあり方等を検討する。